

【平成23年度三重県農村青少年プロジェクト・意見発表会開催】

12月7日（水）に、三重県農村青少年クラブ連絡協議会の主催により、県農業大学校を会場に「平成23年度三重県農村青少年プロジェクト・意見発表会」が開催されました。発表会には、クラブ員13名、関係者10名が集まりました。

プロジェクト発表は、日頃の農業経営などを題材に、自ら創意工夫した研究活動を選定し、その活動について、動機、目的、改善方法や工夫、実施した成果及び考察、今後の課題、地域への波及性等をまとめたものを発表するものです。

意見発表は、日頃の営農や生活、地域活動などについて、自らの体験を通じて得られた意見や農業の将来へ向けた提言等について発表するものです。

プロジェクト発表では、伊賀地区の花卉園芸農家の高森さんが、ユリ栽培における労力削減に向けた研究調査報告を行いました。意見発表では、伊勢志摩地区のトマト農家の牧谷さん、紀州地区の有機野菜農家の田畑さんが発表しました。牧谷さんは、トマトの販路開拓の構想と取組について、田畑さんは耕作放棄地を活用した有機野菜栽培の取組について、それぞれの想いや体験を発表しました。

審査の結果、伊賀地区の高森さんが「知事賞」、紀州地区の田畑さんが「三重県農村青少年クラブ連絡協議会会長賞」に選出されました。お二人には、来年1月23日に伊賀市で開催される「東海ブロック農村青少年会議」において、三重県代表として発表を行っていただきます。今回の発表内容をさらにブラッシュアップして、いっそう素晴らしい発表となることを期待しています。



（高森さんの発表風景）



（牧谷さんの発表風景）



（田畑さんの発表風景）